

# 小塚哲司講演会 “アフガンでタリバン復権”

アフガニスタンの反政府武装組織タリバンが、首都カブールを陥落させ、20年ぶりに政権を奪回した。米同時多発テロから20年を機に、区切りをつけようとした米国の、軍撤退方針に誤りはなかったのか。シェール革命で、中東への依存度が低くなった事情や、「唯一の競争相手」とみる中国への対処を優先しているかもしれない。それにしても国際社会のアフガニスタン社会の復興、民主化への努力は、何だったのか。タリバンが政権を担うことになった今、最大関心事は、タリバンがどのような政權で、どのような国家運営をしていくのかという点だ。女性たちから再び教育、就労を奪うことはないのか。統治の基盤とする「イスラム法」とは何か。…を考えたい。

と き  
令和3年9月18 (土)  
10:00~12:00

実施方法  
オンライン  
ZOOM方式

講 師  
中日新聞元論説委員  
小塚哲司 氏



写真 輸送機内にひしめき合う人々 Defense one

## 参加申し込み

本講演会は、オンラインのみで実施いたします。  
Eメールでお申し込みください。

## お問い合わせ先

北名古屋国際交流協会  
〒481-8531 北名古屋西之保清水田15番地  
TEL 0568-22-1111 FAX 0568-25-1800  
Eメール info@kitanagoya-kiia.jp



## 講師プロフィール

こ づか てつ し  
小 塚 哲 司 氏

(昭和18年8月31日生まれ)

昭和

44年3月 名古屋大学文学部フランス文学科卒業  
4月 中日新聞社入社  
54年8月 名古屋本社・社会部  
63年8月 東京本社・外報部カイロ支局長  
中東紛争や湾岸戦争など17カ国取材  
ファハド・サウジアラビア国王に会見

平成

05年9月 パリ支局長 フランス大統領選挙、欧州の通貨統合、  
核実験など取材  
9年1月 名古屋本社・中部政治部長  
以後 岐阜支社次長、文化芸能局次長など経て  
16年4月～ 中日懇話会事務局長、論説委員(中東)  
23年9月 中日新聞・特別功労賞受賞

放送大学客員教授、愛知淑徳大学、名古屋外国語大  
学、愛知学院大学の各非常非常勤講師を兼務

令和

02年4月 名古屋外国語大学非常勤講師

著作「恐怖のM8」(東南海、三河地震の記録)